

SAMPLE

職場環境改善グループワーク

株式会社ドクター・トラスト

Stresscheck-Laboratory
ストレスチェック研究所

目指す姿を明確にして問題点を考える

改善計画を立てるため、部署として目指す姿（目的）を明確に

集団分析を用いて共通認識として把握した現状（課題）に対して
「部署としてどうあるべきか？」 「どんな部署にしたいか？」

自分たちが働く部署の理想の姿（目的）を明確に！



職場環境改善のためのワークシート①

良い点 あなたの職場の強み
今すでに実現しているもの

例) 年次休暇が取得しやすい、時短など働き方が寛容

部署の理想の姿は？

目標 ありたい姿
こんな職場にしたいという理想像

例) ハラスメントを受けていると感じる人がひとりもない

現状 現在の職場の状態を客観的にとらえたもの
集団分析から得られた情報

例) ハラスメントを受けていると感じる人がいる

目標を阻んでいることや
目標と現状の差はどんなこと？

問題点 目標と現状のギャップが
あなたの職場の改善すべき点です

例) どのような行為がハラスメントにあたるのか上司も部下も正しく理解できていない

改善案を考える

課題の抽出と改善案はとにかく出せるだけ出す！

理想（目的）と現状の間にある**ギャップ**（課題）を抽出し
具体的な改善施策の選択肢を議論。

選択肢はメンバー全員でできるだけたくさん出すこと！

管理職はファシリテーターとして
できるだけ具体的に意見を引き出しましょう！

**現実的か？効果的か？などは
現段階では考慮しないことがポイント！**



※ロジックツリーの他、GROWフレームワークなどでも問題ありません

職場環境改善のためのワークシート②

改善方法の検討

要因ごとの改善方法をロジックツリーをもちいてできるだけたくさん書き出してみましょう

⚠ 問題が起こる要因

例) 指導のつもりがハラスメントになっている

! 改善のためにできそうなこと

| 実現可能性 | 効果性 |
|-------|-----|
|-------|-----|

問題点の要因はなんだろう

例) 正当な指導もハラスメントととらえる人がいる

例) コミュニケーション不足で誤解が生じている

改善策を出来るだけたくさん出そう

優先順位を決める

「実現可能性」「効果性」などの観点から、選択肢に優先順位付け

| 改善施策案 | 実現可能性 | 効果性 |
|---------|-------|-----|
| ・ 選択肢 1 | B | A |
| ・ 選択肢 2 | A | B |
| ・ 選択肢 3 | C | A |
| ・ 選択肢 4 | A | C |
| ・ | ⋮ | ⋮ |

実現可能性

- A = すぐに実施可能
- B = 手間や時間をかければ実施可
- C = 実施が難しい

効果性

- A = 効果大
- B = そこそこ効果が見込める
- C = あまり効果は期待できない

選択肢ごとに評価を行い
優先順位付けし、
参加メンバー間で**合意形成**を行う

職場環境改善のためのワークシート②

改善方法の検討

要因ごとの改善方法をロジックツリーをもちいてできるだけたくさん書き出してみましょう

⚠ 問題が起こる要因

例) 指導のつもりが
ハラスメントになっている

例) 正当な指導も
ハラスメントととらえる人がいる

例) コミュニケーション不足で
誤解が生じている

! 改善のためにできそうなこと

優先順位付けを行う

| 実現可能性 | 効果性 |
|-------|-----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

職場環境改善のためのワークシート

職場環境改善計画

いつ・だれが・どのように行うのか
具体的に考えてみましょう

具体的な改善案

実施時期

実施
担当者

振り返り
時期

例) メンバー全員がハラスメントと指導の違いを学ぶ

実施時期・担当者・振り返り
時期まで決める

例) まずは挨拶や雑談から会話を増やす